エコアクション21

環境経営レポート

対象期間　2022年5月1日～2023年4月30日

第3版

発行　2023年7月6日

造園・外構・エクステリア
株式会社 熊宮庭苑

エコアクション21
認証番号0013381

目　次

1. 環境経営方針 2

2. 組織の概要 3

3. 環境経営体制図及び役割・責任・権限表 4

4. 中長期環境経営目標 5

5. 環境経営計画の実施状況・評価（2022年5月～2023年4月） 6

6. 短期の環境経営目標及びその実績・評価（2022年5月～2023年4月） 7

7. 環境経営目標の達成状況・評価（2022年5月～2023年4月） 8

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価
並びに違反・訴訟の有無 9

9. 代表者による全体の評価と見直し・指示 9

10. 環境活動等の紹介 10

11. SDGsへの取り組みリスト 11

12. 次年度からの環境経営計画 12

【表紙の写真】
店舗『オレンジガーデン』を構える「サンロードシティ熊本」内で管理・運営している花壇（全長140m）

1. 環 境 経 営 方 針

[経営理念]

1. 私たちはお庭で困っている事やお庭の悩みを最善の方法で解決します
2. 私たちはお庭の持っている価値を社会に広めて、住みよい住環境づくりに貢献します
3. 私たちはスタッフ全員で共に成長し、全従業員の物心両面の幸せを追求します

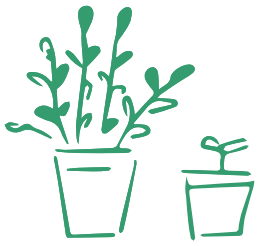
[基本方針]

環境保全活動を推進するにあたり、以下に主な活動項目を掲げ取り組みます。

1. 次の課題について環境経営目標・環境経営計画を策定し、定期的に見直しを行い、環境経営の継続的な改善に努めます。

   ① 電気使用量、及び自動車燃料（ガソリン・軽油）使用量の削減により二酸化炭素排出量を削減
   ② 一般廃棄物（燃えるごみ）排出量 及び 産業廃棄物排出量の削減
   ③ 水使用量の削減
   ④ 化学物質使用量の削減・適正管理
   ⑤ 排ガスゼロ・燃料ゼロ・低騒音のため、工具をエンジン式から充電式へ
   ⑥ 紙使用量の削減
   ⑦ 「お庭の緑化」普及推進
   ⑧ 地域社会貢献活動の推進
   ⑨ 教育・訓練の実施、社員の技術力向上への取り組み

2. 環境に関わる法律・規制その他公的基準を遵守します。
3. 環境経営方針は、全社員に周知するとともに、環境教育を行い社員の環境に関する意識向上を図ります。



改訂日：2021年 7 月 1日
制定日：2020年 11月 1日

株式会社熊宮庭苑
代表取締役　熊宮照男

2. 組織の概要

1. 名称及び代表者名

事業所名　　株式会社　熊宮庭苑
代表者名　　代表取締役　熊宮照男

2. 所在地

本　社（登記上）	熊本県熊本市東区東町3-2-18
本　店	熊本県熊本市東区東町3-2-3
オレンジガーデン	熊本県熊本市東区東町3-3-3
益城事務所	熊本県上益城郡益城町安永738-21
資材置場	熊本県上益城郡益城町馬水206

3. 環境管理責任者、連絡担当者及び連絡先

環境管理責任者　　代表取締役 熊宮照男
連絡担当者　　代表取締役 熊宮照男
連絡先　　TEL：096-331-3276　　FAX：096-331-3277
E-mail：info@kumamiya.com

4. 建設業許可内容

許可番号　　熊本県知事 許可（般－30） 第15509号
許可の有効期限　　平成31年2月28日から平成36（令和6年）年2月27日まで
許可内容の種類　　土木工事業、大工工事業、石工事業、鋼構造物工事業、
タイル・れんが・ブロック工事業、内装仕上工事業、
舗装工事業、とび・土工工事業、建築工事業、屋根工事業、
しゅんせつ工事業、造園工事業
造園工事業は平成15年 4月21日から

5. 事業年度　　5月～翌年4月末

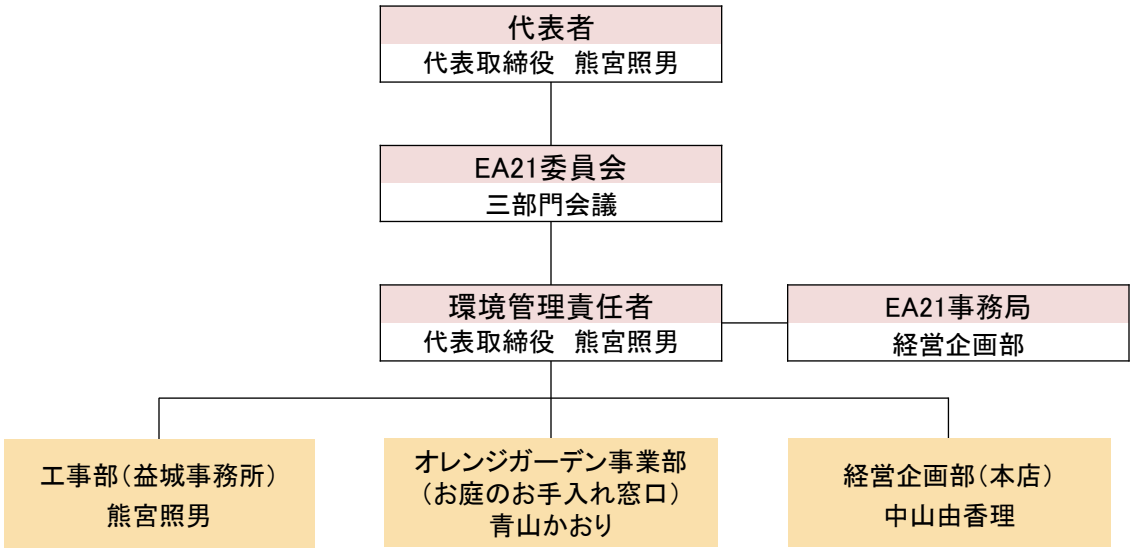
6. 事業の規模　　年間総売上高　　147. 452千円

	本　店	ｵﾚﾝｼﾞｶﾞｰﾃﾞﾝ	益城事務所	資材置場	合計
従業員	3名	4名	5名	無人	12名
延べ床面積	142㎡	41㎡	49㎡	2,419㎡	2651㎡

7. 認証・登録の対象範囲

1. 事業活動　　建設業：土木工事業、造園工事業、建築工事業、とび・土工工事業
2. 対象事業所　本店、オレンジガーデン、益城事務所、資材置場

3. 環境経営体制図 及び 役割・責任・権限表



職名	役割・責任・権限
代表者	・環境経営に関する統括責任
	・環境経営システムの実施に必要な人・設備・費用・時間等、経営資源を準備
	・環境管理責任者を任命
	・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員への周知
	・環境経営目標・環境経営計画書を承認
	・代表者による全体の評価と見直し・指示を実施
	・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築・実施・管理
	・環境関連法規等の取りまとめ表を承認
	・環境経営目標・環境経営計画書を確認
	・緊急事態への準備及び訓練を実施
	・環境経営レポートの確認
EA21委員会	・毎月1回開催。環境経営目標・環境経営計画の進捗確認及び問題点の対策
部門長	・毎月1回、EA21委員会（三部門会議）への参加
	・環境経営方針・環境経営目標・環境経営計画を自部門全員に周知
	・環境経営目標達成のため、責任をもって自部門の環境活動を推進
	・自部門で発生した問題点の是正処置・予防処置の実施
	・自部門に関連する法規制等の遵守
	・自部門の活動推進・管理
EA21事務局	・環境管理責任者の補佐
	・EA21文書及び記録類、基礎データの作成・維持・集計・管理
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
	・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付、事務局への送付）
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚
	・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

4. 中長期環境経営目標

2020年度＝2020年5月～2021年4月

年度 / 項目		2020年度 基準（※1,2）		単位	2021年度 目標（※3）	2022年度 目標（※3）	2023年度 目標（※3）
		全体（絶対値）	売上百万円当り		-0.5%	-1.0%	-1.5%
①二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	30,327	187.8	Kg-CO2/百万円	186.9	186.0	185.0
				kg-CO2	30,175	30,024	29,872
1.電気使用量の削減	kg-CO2	7,809	48.4	Kg-CO2/百万円	48.1	47.9	47.6
	kWh	21,048	130.4	kWh	20,943	20,838	20,732
2.ガソリン使用量の削減	kg-CO2	8,897	55.1	kg-CO2/百万円	54.8	54.6	54.3
	L	3,835	23.8	L	3,816	3,796	3,777
オレンジガーデン（店舗）	kg-CO2	2,161	13.4	kg-CO2/百万円	13.3	13.3	13.2
	L	932	5.8	L	927	922	918
益城事務所（現場）	kg-CO2	6,735	41.7	kg-CO2/百万円	41.5	41.3	41.1
	L	2,903	18.0	L	2,888	2,874	2,859
3.軽油使用量の削減	kg-CO2	13,621	84.4	kg-CO2/百万円	83.9	83.5	83.1
	L	5,280	32.7	L	5,253	5,227	5,200
②_1. 一般廃棄物排出量の削減	kg	99,045	568.0	Kg/百万円	565.2	562.3	559.5
				kg	98,550	98,055	97,559
②_2. 産業廃棄物排出量の削減	kg	66,960	414.7	Kg/百万円	413	411	409
				kg	66,625	66,290	65,956
③水使用量の削減	m3	184	1.14	m3/百万円	1.134	1.128	1.123
				m3	183	182	181
④化学物質使用量の削減 適正管理	-	適正管理			適正管理	適正管理	適正管理
⑤工具をエンジン式から充電式へ	-	導入			導入推進	導入推進	導入推進
⑥紙使用量の削減	-	紙使用量削減推進			削減推進	削減推進	削減推進
⑦緑化の普及推進	-	普及推進			普及推進	普及推進	普及推進
⑧地域社会貢献活動の推進（年1回以上）	回	1		回	1	1	1
⑨教育・訓練の実施（年1回以上）	回	1		回	1	1	1
社員の技術力向上への取り組み	-	技術力向上推進			向上推進	向上推進	向上推進

※1.第二版まで産業廃棄物排出量が誤っていたため2020年度の基準、2021～2023年度の目標を変更。

※2.基準年2020年度の一般廃棄物に環境工場分が含まれていなかったため2020年度の基準、2021～2023年度の目標を変更。

※3.二酸化炭素排出量の各削減項目　目標値は原単位（百万円当り）。

5. 環境経営計画の実施状況・評価

（2022年5月～2023年4月）

◎よくできた　〇できた　△あまりできなかった　×全く出来なかった

環境活動計画	責任者	評価	本年度の反省と内容	次年度の取組
①_1. 電気使用量の削減				
不要な照明の消灯	熊宮 青山 中山	◎	見積有料化を新築だけでなくリフォームにも導入した。残業時間削減につながった。PC等電源から抜くようにした。	継続
待機電力の消灯				継続
空調温度の適正化（室内温度夏25度、冬27度）		〇	前期よりも行えた。	継続
①_2. 自動車燃料（ガソリン・軽油）使用量の削減				
アイドリングストップ	熊宮 青山	〇	整理整頓を心掛け、定期的に不要な積荷のチェックを行った。安全運転とエコ運転を心掛けている。	継続
急加速・急発進の防止		◎		継続
不要な積荷のチェック		◎		継続
タイヤ空気圧のこまめなチェック		〇	半年に1 回は行っている	継続
①_1.2. による二酸化炭素排出量削減				
上記1.2.の取組による	熊宮	〇	行えた	継続
②_1. 一般廃棄物 排出量の削減				
分別の徹底	青山 中山	〇	プラスチックには特に注意して分別している	継続
事務用品は詰替、補充できるものを優先		◎	品目リストの見直し・追加をし、共有した	継続
②_2. 産業廃棄物 排出量の削減				
分別に努める	熊宮	◎	きちんと分別するようにしている	継続
マニフェストを基に適正な処理を行う		◎	できた	継続
③. 水使用量の削減				
手洗い、洗い物等での流しっぱなしをしない	熊宮 青山 中山	◎	徹底して行った	継続
節水の工夫		◎	一部トイレ貯水タンクにペットボトルを入れた。	継続
④. 化学物質使用量の削減・適正管理				
使用量の把握	熊宮	〇	購入量で使用量を把握した。希釈倍数を守った。	継続
希釈倍数を必ず守る		◎		継続
⑤. 工具をエンジン式から充電式へ				
充電式工具の導入	熊宮	◎	約25年間使用していた2tダンプトラックから3tダンプトラックへ変更。平成28年排出ガス規制への対応と低燃費の車種となった。	継続
⑥. 紙使用量の削減				
ペーパレス化の推進	青山 中山	◎	Share（社内共有フォルダー）やプロジェクター、パソコン液晶2面を活用している	継続
裏紙の使用		◎	使用できるものは徹底して使用している	継続
⑦. 「お庭の緑化」普及推進				
新築外構工事の際は植栽の提案を100%行う	青山	◎	ご提案の一つとして心掛けている	継続
オレンジガーデン（店舗）を窓口とした緑化推進	熊宮	◎	継続している	継続
⑧. 地域社会貢献活動の推進				
事務所周辺の清掃活動	熊宮	◎	2月に東町にて道路清掃を実施	継続
⑨. 教育・訓練の実施、社員の技術力向上への取り組み				
教育・訓練の実施	熊宮	◎	全体、工事部で各1回実施	継続
社員の技術力向上への取り組み		◎	資格支援や研修参加を積極的に行った	継続

6. 短期の環境経営目標 及び その実績・評価
（2022年5月～2023年4月）

2020年度＝2020年5月～2021年4月

項目＼年度		2020年度 基準		2022年度 目標(-1.0%)		2022年度 実績		達成率	
		全体（絶対値）	売上百万円当り	全体（絶対値）	売上百万円当り	全体（絶対値）	売上百万円当り	全体（絶対値）	売上百万円当り
①二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	30,327	187.8	30,024	186.0	34,172	231.8	87.9%	80.2%
1.電気使用量の削減	kg-CO2	7,809	48.4	7,731	47.9	8,579	58.2	90.1%	82.3%
	kWh	21,048	130.4	20,838	129.1	23,123	156.8		
2.ガソリン使用量の削減	kg-CO2	8,897	55.1	8,808	54.6	8,326	56.5	105.8%	96.6%
	L	3,835	23.8	3,796	23.5	3,589	24.3		
オレンジガーデン（店舗）	kg-CO2	2,161	13.4	2,140	13.3	2,351	15.9	91.0%	83.1%
	L	932	5.8	922	5.7	1,031	7.0		
益城事務所（現場）	kg-CO2	6,735	41.7	6,668	41.3	6,168	41.8	108.1%	98.7%
	L	2,903	18.0	2,874	17.8	2,659	18.0		
2.軽油使用量の削減	kg-CO2	13,621	84.4	13,485	83.5	17,267	117.1	78.1%	71.3%
	L	5,280	32.7	5,227	32.4	6,693	45.4		
②_1. 一般廃棄物排出量の削減	kg	99,045	568.0	98,055	562.3	115,203	781.3	85.1%	72%
②_2. 産業廃棄物排出量の削減	kg	66,960	414.7	66,290	410.6	49,350	334.7	134.3%	123%
③水使用量の削減	m3	184	1.14	182.2	1.13	179	1.2	101.8%	93%
④化学物質使用量の削減 適正管理	-	適正管理		適正管理		○		○	
⑤工具をエンジン式から充電式へ	-	導入推進		導入		◎		◎	
⑥紙使用量の削減	-	紙使用量削減推進 白黒24,497枚 カラー15,922枚		紙使用量削減推進 白黒24,252枚 カラー15,763枚		紙使用量削減推進 白黒22,731枚 カラー14,984枚		◎	
⑦緑化の普及推進	-	普及推進		普及推進		◎		◎	
⑧地域社会貢献活動の推進（年1回以上）	回	1		1		1		◎	
⑨教育・訓練の実施 （年1回以上）	回	1		1		1		◎	
社員の技術力向上への取り組み	-	技術力向上推進		技術力向上推進		◎		◎	

※1.第二版まで産業廃棄物に含めていた建設汚泥が誤っていたため2020年度の基準、2021～2023年度の目標を変更。
※2.基準年2020年度の一般廃棄物に環境工場分が含まれていなかったため2020年度の基準、2021～2023年度の目標を変更。
※電気については九州電力[CO2調整後排出係数]2019年度0.371と2021年度0.389を使用。

7. 環境経営目標の達成状況・評価
（2022年5月～2023年4月）

①電気使用量、及び自動車燃料（ガソリン・軽油）使用量の削減により二酸化炭素排出量を削減する
二酸化炭素排出量の削減について、全体では達成率87.9%。電気使用量は90.1%で未達でした。各拠点での絶対値の電気使用量増加理由として、店舗では電気使用器具の増設・コロナ感染対策による常時窓を開けたままでの空調温度管理、本店ではミーティング時間の増加が考えられる。ガソリン使用量は105.8%で達成。軽油使用量における現場（益城事務所）の達成率78.1％は公共工事（公園）の増加のため。来期も今回の計画を継続する。
②一般廃棄物（燃えるごみ）及び産業廃棄物排出量の削減
①同様、公共工事（公園）の増加のため剪定枝・樹木・草類の排出量が増え、85.1％だった。
③水使用量の削減
達成。節水掲示を継続。トイレの貯水タンクにペットボトルを入れるなど節水の工夫を行っている。
④化学物質使用量の削減・適正管理
購入量から使用量を把握した。化学物質置場に安全データシートをまとめた説明書を常に置くようにし、適正管理の意識を高めた。
⑤排ガスゼロ・燃料ゼロ・低騒音のため、工具をエンジン式から充電式へ
約25年間使用していた2tダンプトラックから3tダンプトラックに変更。排出ガスと燃費よい車種になった。
⑥紙使用量の削減
会社全体でペーパレスへの意識がさらに高まり、使用できる裏紙の使用が増え、不要な印刷が減った。結果的に、目標に対してモノクロ出力は1521枚減。カラー出力は779枚減、全体で2300枚下回った。継続する。
⑦「お庭の緑化」普及推進
オレンジガーデン（店舗）を窓口として、新築外構工事等のお客様へ植栽のご提案を行った。
⑧地域社会貢献活動の推進
東町（オレンジガーデンと本店）周辺の清掃活動を行った。
⑨教育・訓練の実施、社員の技術力向上への取り組み
・全従業員へカーボンニュートラルについての周知と、工事部にて安全訓練を各1回ずつ行った。
・社員への資格取得支援、各種研修の受講を積極的に推進。熊本市技術専門学院に1名通学中。

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価 並びに違反・訴訟の有無

当社の事業活動において法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

法の改定等について　EA21プラザ等で確認し、適宜更新する。

適用される法規制	該当する設備・項目	届出・報告・証拠	遵守結果	確認
・建設リサイクル法	建設資材（ｺﾝｸﾘｰﾄ・ｱｽﾌｧﾙﾄ）のリサイクル	届出書	○	1月8日 熊宮
	リサイクル資材（ｺﾝｸﾘｰﾄ・ｱｽﾌｧﾙﾄ)の活用	購入証明書提出	○	1月8日 熊宮
・廃棄物処理法	一般廃棄物（樹木・草類）	検収伝票	○	1月8日 熊宮
	産業廃棄物（ｺﾝｸﾘｰﾄ・ｱｽﾌｧﾙﾄ）	契約書、許可証 マニフェスト	○	1月8日 熊宮
	収集運搬（自社運搬）	産業廃棄物運搬表示	○	1月8日 熊宮
・農薬取締法 ・化学物質排出把握管理促進法 ・消防法	薬品保管庫（ﾄﾚﾎﾞﾝ乳剤・ｽﾐﾁｵﾝ乳剤・ﾊﾞｽﾀ液剤etc.）	在庫管理表の常備	○	1月8日 熊宮
・フロン排出抑制法	業務用空調機	点検記録	○	2月9日 野田
・家電リサイクル法	家庭用エアコン・電気洗濯機 電気冷蔵庫	廃棄時	—	—
・小型家電ﾘｻｲｸﾙ法	パソコン・小型カメラ・スマホ 電子レンジ・携帯電話・電源アダプタ	廃棄時	—	—

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
違反・訴訟・苦情などもありませんでした。

9. 代表者による全体の評価と見直し・指示

① 二酸化炭素排出量の削減について、引き続き全社員で意識的に取り組む。
② 一般廃棄物（燃えるごみ）排出量及び産業廃棄物排出量の削減について、工事の内容により排出量は大きく増減するが、分別、一時保管のルール遵守は確実に実施する。
③ 節水は全社員できている。ひきつづき無駄がないように努力する。
④ 化学物質については、希釈倍数を確実に守り適正管理を行っていく。
⑤ 工具ではないが今期は2tダンプトラックを3tダンプトラックに変更。約25年間使用したダンプだったため、かなり低燃費な車種となり、排ガス量も少なくなった。今後、他の機械についても導入していきたい。
⑥ ペーパーレス化は裏紙使用や打合せ時のプロジェクター、2画面デスクトップパソコンの使用により実施中。今後も継続する。
⑦ 3年目を迎えた「お庭のお手入れ窓口」を維持し、オレンジガーデン（店舗）を窓口としたお庭の緑化推進を行っている。今後も緑に携わる事業者として推進していく。
⑧ 清掃活動は引き続き年1回以上実施する。店舗を構えるサンロードシティ熊本内花壇のお手入れも引き続き行う。
⑨ 若手を含めた社員の技術力向上のため積極的に資格取得支援、研修参加を引き続き推進する。
⑩ 環境経営方針、環境経営目標、実施体制は変更しない。

評価見直しの実施日：2023年 7月3日

代表取締役　熊宮照男

10. 環境活動等の紹介

環境経営システム勉強会

安全会議（月1回）
緊急事態訓練（年1回）

お庭の緑化勉強会（年1回）

2月清掃活動

公園　緑化管理

お庭のお手入れ

モデルガーデン　植栽工事

サンロードシティ内花壇

花壇のお手入れ

益城事務所　間引き点灯

11. SDGsへの取り組みリスト

	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織・公正な取引	経営理念及び、経営目標は従業員の目につく場所に掲示し、年2回の全体ミーティングで説明、共有している。								8	9								17
	法令遵守を含む研修を定期的に行い、社内で啓発を行っている。																16	
	会社として公正な取引に努め、全従業員に向け、月1回のミーティング等でその重要性を説明している。										10						16	
	主に経営企画部で対応している。																16	
	エクステリア&ガーデンデザイナーの知的財産を守るキャンペーンに賛同し、それを図面に明示している。								8.2 8.3	9							16	
	各部署のミーティングなどで個人情報の取扱いについての対策を共有し、ノートパソコンの社外への持ち出しを禁止している。																16	
	顧客とのお打合せや施工後のアンケート、挨拶まわりなどでのコミュニケーションを大切にしている。その内容は社内で共有している。																16	17
労働・人権	あらゆる雇用条件および職場環境において就業規則やミーティング等より差別のない体制・運営を行っている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	労働安全衛生講習会を実施している。			3					8.8									
	雇用形態に関わらず、公正な待遇を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	概算見積りのシステム化に伴う現地調査等の業務改善により、残業時間の短縮を図っている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	施工に必要な技術や知識を身につけるために、必要経費の支給により、研修・セミナー、資格取得を推奨している。				4	5.5			8	9								
	安全第一への注意喚起や予想される危険について、日々従業員へ伝えている。「全従業員の物心両面の幸せを追求する」ことを経営理念に掲げている。			3					8									17
	業務運営や昇進・昇格等に、年齢・性別などの違いによる差別的待遇はない。リーダー以上に年齢・性別の偏りもない。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
環境	エコアクション21を取得している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	簡易計算シートを活用し、全社のエネルギー使用量を把握している。削減に向けた掲示を行い、意識向上に努めている。							7.3						13				
	エコアクション21を取得している。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	ガソリン式の工具から環境に配慮した充電式の工具への変換を行っている。						6.6								14	15		
	デジタルを活用し、ペーパレス化を促進している。また、印刷物の裏紙は再利用ができるものはできるだけ活用している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	3つの事業所全てに「節水」を促す掲示を行っている。更に、資材置場には雨水貯留タンクを設置し、散水などに雨水を利用している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	エコアクション21を取得している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
製品・サービス	・従来の施工方法と新しい施工方法を比較検討し、安全性又は品質をより確保出来る施工方法を採用している。 ・施工後3ヵ月以内にアフターメンテナンスに伺い、チェックリストに沿った点検を行っている。			3.9						9			12.4					
	・益城事務所では5S活動、現場ではKYミーティングを行い、危険やミスを防ぐよう意識を高め、安全かつ作業効率や生産性が上がるよう現場整備を行っている。 ・階段や段差のある場所には手すりを付けたり、スロープにしている。									9.1	10	11.7						17
持続可能な社会	地域事業者として地域の防災活動やボランティアに取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	従業員に自治体が発行するハザードマップ及びJ-SHIS地図、熊本県「土砂災害警戒区域・特別警戒区域マップ」を周知し、事務所内に低騒音・低燃費の発電機を常備している。				4							11.5		13.1			16	

12. 次年度からの環境経営計画

方針	目　　標	目標達成手段	責任者
①二酸化炭素排出量削減	電力使用量の削減	・不要照明の消灯	全部門 熊宮 青山 中山
		・待機電力の消灯	
		・空調温度の適正化（室内温度夏25度、冬27度）	
	自動車燃料（ガソリン・軽油）の削減	・アイドリングストップ	熊宮 青山
		・急加速・急発進の防止	
		・不要な積荷のチェック	
		・タイヤ空気圧のこまめなチェック	
②廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減	・分別の徹底	青山 中山
		・事務用品は詰替、補充できるものを優先	
		・品目リストの活用	
	産業廃棄物の削減	・分別に努める	熊宮
		・マニフェストを基に適正な処理を行う	
③水使用量削減	水使用量の削減	・手洗い＆洗い物での流しっぱなしをしない	全部門 熊宮 青山 中山
		・節水の工夫	
		・消毒時、散布量に無駄がない様努める	
④化学物質使用量	化学物質使用量の削減・適正管理	・使用量の把握	熊宮
		・希釈倍数を必ず守る	
⑤工具	工具をエンジン式から充電式へ	・充電式工具の導入	熊宮
⑥紙使用量削減	紙使用量の削減	・ペーパレス化の推進	青山 中山
		・裏紙の使用	
⑦緑化	緑化の普及推進	・新築外構工事の際は植栽の提案を100%行う	熊宮 青山
		・オレンジガーデンを窓口とした緑化普及推進	
⑧地域社会貢献活動	地域社会貢献活動の推進	・事務所周辺の清掃活動	熊宮
⑨教育・訓練・社員の技術力向上	教育・訓練の実施 若手社員の技術力向上	・緊急事態に備えるための教育・訓練の実施	熊宮
		・各種資格支援、研修への参加促進	

〒862-0901熊本市東区東町3-2-18
ＴＥＬ：０９６-３３１-３２７６
ＦＡＸ：０９６-３３１-３２７７
Mail ：info@kumamiya.com
ＵＲＬ：ｋｕｍａｍｉｙａ.ｃｏ.ｊｐ
ｏｒａｎｇｅ-ｇ.ｊｐ

造園・外構・エクステリア
株式会社 熊宮庭苑

ガーデン＆エクステリア専門店
オレンジガーデン